

一般財団法人ぐんま未来基金 設立記念助成 募集要綱

【助成プログラムA】力あわせて“きざし”を支えるマッチングギフト型助成

【助成プログラムB】学生・若者のためのぐんま未来チャレンジ助成



力あわせる
ぐんま未来基金

小さな“きざし”から、群馬は変わる。

社会課題を早期に発見し、解決のために挑戦する団体を応援します。

応募期間：2024年6月5日（水）から7月19日（金）24時まで

1. はじめに

一般財団法人ぐんま未来基金は、ぐんまの未来に向け、地域の社会課題解決のために、そのきざしに寄り添い、あらゆる主体が力あわせ公益を支える仕組みを強化し、持続的に幸福が循環する自立参加型の共生社会を共創することを目的に、2024年3月29日に設立しました。

今回の助成金は、ぐんま未来基金の設立趣旨に賛同いただいた338名の設立賛同人からの寄付金で成り立っています。社会課題が複雑化、個別化している時代だからこそ、群馬の人々にはなじみの深い「上毛かるた」にある“力あわせる”の札のように、オール群馬で課題解決に挑みたい。年齢や性別、障害の有無や国籍などに関わらず、すべての人が幸せに暮らすことのできる群馬の未来をつくるために、身近な社会課題を他人事にせず、何とかしたいと自ら動き出す人に寄り添い応援するために、本助成を実施します。

2. 募集プログラムの内容

2つの助成プログラムを設立記念助成として募集します。

【助成プログラムA】力あわせて“きざし”を支えるマッチングギフト型助成

【助成プログラムB】学生・若者のためのぐんま未来チャレンジ助成

助成プログラムA	
力あわせて“きざし”を支えるマッチングギフト型助成	
(1) 助成内容	
趣旨	<p>社会課題を根本から解決するためには、長期的な視点を持ち、活動面も資金面を自立的に継続する必要があります。しかし、地域活動や非営利活動の分野では、資金面で受益者負担を求めることが難しいケースが多いのが現状です。熱意を持って始めて、誰かの役に立ち、社会に求められている事業でも、活動資金の確保が困難となり、活動継続を断念するケースは珍しくありません。そんな悔しい思いはしたくない、組織基盤を強化していきたいと考えている団体は多いのではないのでしょうか。</p> <p>そこで本助成プログラムでは、社会課題解決の“きざし”となる新たな活動を育てていくために、団体の『寄付集めの力』を向上し、多くの人と力あわせていきたいという団体を募集します。</p>
特徴1	<p>特徴1：マッチングギフト型の助成プログラムです。</p> <p>団体が主体となり寄付集めを行っていただきます。集まった寄付額と同額を、活動助成金として上乗せします。(助成上限20万円)</p> <p>(例) 団体が20万円の寄付を集めた場合、同額の20万円を助成します。 総額40万円の活動を行うことができます。</p>

特徴2：寄付集めの準備金を活用できます。

寄付集めの準備金として、マッチングギフトとは別に5万円までを助成します。チラシやパンフレットの印刷、のぼり旗の作成、募金箱の購入、ノベルティの制作など、寄付募集キャンペーンに活用してください。

特徴3：ぐんま未来基金の専門チームが伴走支援を行います。

寄付集めや活動の計画・準備段階から実施まで、ぐんま未来基金の専門チームにいつでも相談することができます。活動歴が浅い団体はもちろん、長く活動をしてきて新しいアイデアを取り入れたい団体も、伴走支援を活用いただくことで基盤強化につなげていただくことができます。

特徴4：様々な研修メニューを受講できます。

ファンレイジング、情報発信、会計実務など団体運営に役立つ様々な研修メニューを受講いただくことができます。この助成期間中に集中的に学び、今後の活動に活かしていただくことができます。

(2) 対象分野

複雑に絡み合う社会問題にアプローチするために、複数分野にまたがった活動とすることで、対象者が参加しやすくなったり、社会課題が広く認知されたり、活動への応援者が増えていくような活動を期待しています。

(例) 子ども×多文化交流、環境保全×文化芸術×子どもなど

(3) 対象事業

例えば、イベントの実施、サロンの開催、モニターツアーの実施、新しいプログラムの開発など、社会課題解決のために適切な手法になっていれば、広く様々な事業が対象となります。すでに団体が行っている事業も対象となります。既存の事業で申請する場合には、本プログラムの目的と一致していることを確認してください。

(4) 対象者

群馬県内で5人以上で活動する営利を目的としない団体

(5) 事業実施期間

2024年9月1日 から 2025年6月30日 (事業終了1ヶ月以内に報告書を提出)

(6) 助成金額

上限 25 万円/件（準備金：上限 5 万、活動助成金：上限 20 万）

① 準備金 … 上限 5 万円

寄付募集チラシ等のデザイン費、製本印刷費、募金箱購入など寄付集めに必要となる経費を申請いただけます。

② 活動助成金 … 寄付目標額と同額まで申請いただけます。上限 20 万円。

寄付目標金額	5 万	6 万	…	20 万	21 万	22 万	…
活動助成金の金額	5 万	6 万	…	20 万	20 万	20 万	上限 20 万円

※ 寄付目標金額は申請時に設定していただく必要があります。事業内容に合わせて最低 5 万円から 1 万円単位で、自由に設定をしてください。採択後、寄付キャンペーンの計画策定時に目標寄付金額を変更することは可能ですが、活動助成金を増やすことはできません。

※ 活動助成金の助成額は、申請時の金額を上限とし、寄付集めを実施後に集まった寄付額に応じて確定となります。

(7) 助成件数

3 件（総額 75 万円）※準備金と活動助成金を合わせた総額

(8) 寄付集めから事業実施の流れ

採択～事業終了までの流れは以下の通りです。

[助成金授与式・オリエンテーション]

[ステップ1]：寄付について学び、団体の現状に応じた計画を策定する

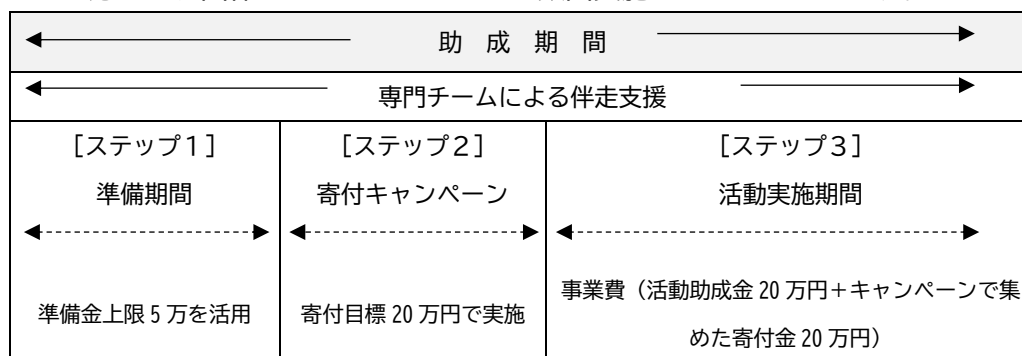
[ステップ2]：寄付募集キャンペーンを実践する

[ステップ3]：社会課題解決の“きざし”となる事業に挑む

[成果報告会]

全ステップを通じてぐんま未来基金の専門チームが伴走支援をさせていただきます。

ステップに応じて、団体ごとにミーティングを数回実施させていただきます。



（こちらの図は、寄付目標額 20 万円は例です。）

(9) 助成プログラムの実施により得られること

- ・ 中長期の視点をもった事業計画を策定することができます。
- ・ 団体の基盤強化につながります。
- ・ 寄付募集キャンペーンを通じて、今後も活動を応援して下さる様々な支援者とつながることができます。
- ・ 寄付集めのノウハウが団体内に蓄積されることで、助成期間終了後も団体の資金調達の手段として活かしていくことができます。

(10) 応募条件

- ・ 法人格の有無は問いませんが、定款（規約等でも可）と役員名簿を有し、年度ごとに予算書の作成と決算を行っていること。
- ・ 申請団体のホームページ等があり（または今後公開する予定）、団体連絡先や活動状況が公開されていること。
- ・ 会計担当者を設定し、支出を帳簿に記録し、定められた方法で領収書等を保存するなど、適正管理ができること。
- ・ 助成金をお振込みする銀行口座が必要です。銀行口座は個人名義の銀行口座ではなく、団体名義の口座や本事業用の口座を可能な限りご用意ください。事業報告の際には通帳の写しなどを提出いただきます。
- ・ 助成金授与式、報告会に出席していただけること。（交通費は自己負担）

(11) 留意点

- ・ ぐんま未来基金より助成する、準備金及び活動助成金は助成期間中に活用していただく必要があります。残金が生じる場合には返金となります。
- ・ 寄付目標額を超えて幸いにも寄付が集まったとしても、活動助成金の上限は 20 万円です。
- ・ 寄付目標額に達しなかった場合には、実際に集まった寄付金額に応じて活動助成金が決定します。
- ・ 寄付募集キャンペーンで集めた寄付金は、寄付集めの際の目的に沿って使う必要があります。
- ・ 氏名や写真等がホームページやメディアに掲載されることがあります。

助成プログラムB

学生・若者のためのぐんま未来チャレンジ助成

(1) 助成内容

趣 旨

やる気のある学生・若者が、地域に飛び出していきっかけとして、本助成プログラムを実施します。学生・若者の視点で、誰の、どんな課題を解決したいのかを設定し、その課題を解決することで、ぐんまの未来がどう変わっていくのか未来志向で描き出してください。そして、小さくてもいいので実行してみてください。本助成プログラムを活用して、地域に一步踏み出してほしいと思います。

特徴1：学生・若者の自由な発想で事業を実施できます。

本プログラムでは幅広い事業内容で申請することができます。イベントの実施、展示会、出版、清掃活動、施設訪問など、自由な発想で提案ください。

特徴2：団体や法人以外にも、チーム単位で申請できます。

学生団体や研究会だけでなく、学校の探究学習のグループなど、3人以上のチームであれば申請できます。

特徴3：ぐんま未来基金の専門チームにいつでも相談できます。

いざ動き出すと、分からないことや困ったことが出てくるかもしれません。助成期間中はぐんま未来基金の専門チームにいつでも相談することができます。

特徴4：活動を通じて様々な人との出会いの場があります。

活動を始めると応援してくれる人と必ず出会うことができます。すでにぐんまで活躍している先輩たちや、同じように頑張っている学生・若者とのつながりは、今後の人生の財産となっていくはずです。

(2) 対象分野

学生・若者ならではの視点で、ぐんまに幸せの循環を生み出し、未来につながると考えられる分野（子どもに関わる分野、多文化共生に関わる分野など、自由に捉えてください）

(3) 対象事業

例えば、イベントの実施、展示会、出版、清掃活動、施設訪問など、社会課題解決のために適切な手法になっていれば、広く様々な事業が対象となります。学生・若者ならではの自由な発想で提案してください。

(4) 対象者	
<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県内の高校・高専・専門学校・短期大学・大学に在学する学生3人以上のチーム ・群馬県内に在住の16歳～22歳の若者で構成する3人以上のチーム ・群馬県内で活動する学生団体 	
(5) 事業実施期間	
2024年9月1日 から 2025年2月28日 （事業終了1ヶ月以内に報告書を提出）	
(6) 助成金額	
上限5万円/件	
(7) 助成件数	
4件程度を予定（総額20万円）	
(8) 事業実施の流れ	
採択～事業終了までの流れは以下の通りです。	
①助成金授与式・オリエンテーション	助成金授与式と事業実施のオリエンテーションを実施します。
②事業開始前ミーティング	事業開始に向けてミーティングを実施します。実施に向け、具体的な計画に落とし込みます。
③中間ミーティング	事業開始後に進捗確認のミーティングを実施します。困っていることがあれば何でも相談してください。
④成果報告会	成果報告会を行います。
(9) 助成プログラムの実施により得られること	
<ul style="list-style-type: none"> ・すでにぐんまで活躍している先輩たちをはじめ様々な人と出会い、つながることで視野が広がります。 ・プロジェクトの策定から実施までを一気通貫することで、次につながる知見を得ることができます。 	

(10) 応募条件

- ・1チームは3人以上であり、全員の氏名、住所、連絡先が把握できる名簿があること。法人格を有する場合は役員名簿。
- ・連絡担当者を設定し、助成期間中は必ず連絡が取れるようにすること。
- ・会計担当者を設定し、支出を帳簿に記録し、定められた方法で領収書等を保存するなど、適正管理ができること。
- ・高校生みのチームの場合は、18歳以上の教員、保護者等をサポーターとして加えてください。
- ・助成金をお振込みする銀行口座が必要です。銀行口座は個人名義の銀行口座ではなく、団体名義の口座や本事業用の口座を可能な限りご用意ください。事業報告の際には通帳の写しなどを提出いただきます。高校生みのチームの場合は、サポーターの教員や保護者の協力を得て、銀行口座を開設してください。どうしても作成が難しい場合にはご相談ください。
- ・助成金授与式、交流会、報告会に出席していただけること。(交通費は自己負担)

(11) 留意点

- ・助成金は助成期間内に全額を活用してください。残金が生じる場合には返金となります。
- ・氏名や写真等がホームページやメディアに掲載されることがありますので、未成年の場合は、必ず保護者等の承諾を得て申請してください。

なお、助成プログラムA・B共に、下記団体は対象とはなりません。

- ・もっぱら自分たちの交流や楽しみを主とする趣味的なサークルや同好会などの活動
- ・政治活動や宗教活動を主たる目的とする団体
- ・暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団若しくはその構成員の統制下にある団体、その他法令、公序良俗等に違反する団体

3. 経費について

(1) 助成対象となる経費（いずれも活動に直接必要なものに限る）

- ① 消耗品費 ：用紙、文房具、食材、衛生資材などの購入費用
- ② 備品費 ：事業実施に必要な備品で1点が10万円以上のもの
- ③ 印刷製本費 ：チラシやパンフレットなどの印刷費
- ④ デザイン費 ：制作物のデザインの委託料、画像などの利用料
- ⑤ 会場費 ：会場使用料、会場で使用する備品の費用
- ⑥ 謝金 ：講師やボランティアなどに対する謝礼金
- ⑦ 通信費 ：郵便、宅急便、Web会議の導入費用など
- ⑧ 旅費交通費 ：鉄道、バス、ガソリン代、駐車場代などの交通費や宿泊費
- ⑨ その他 ：上記経費項目以外の活動に必要な経費

(2) 対象とならない経費

- ① 団体メンバーの件数費、団体メンバーへの講師料などの謝礼金
- ② 会議や打ち合わせの際の飲食を伴う会議費、接待交際費
- ③ 活動の拠点となる事務所などの家賃、光熱費、通信費など
- ④ 事務所や住居などで恒常的に使う備品の購入費用
- ⑤ 活動の拠点となる事務所などの設備工事費用、車両などの購入費用
- ⑥ その他、申請事業には直接関係のない費用

4. 申請手順

(1) 提出書類

申請者は、指定された申請書を記入し、関連する資料を期日までに提出してください。

【助成プログラムA】

- ① 申請書（様式1-A）
- ② 役員名簿（様式任意）
- ③ 定款 または 会則（様式任意）
- ④ 前年度の決算書、活動報告書（様式任意）
- ⑤ 今年度の予算書、活動計画書（様式任意）

【助成プログラムB】

- ① 申請書（様式1-B）
- ② チーム名簿（様式任意ですが氏名、住所、連絡先が必要です）

※ 法人格を有する場合には役員名簿

【申請書(様式 1-A 及び様式 1-B)記入についてのお願い】

- ・申請書は 6 ページ以内に収めてください。
- ・用紙サイズや余白幅などは変更しないでください。
- ・パソコンを使用して書類を作成してください。手書きは対象外となります。
- ・文字サイズは 10.5 ポイント、MS P ゴシックにて記載をお願いします。
- ・図や写真等を追加しても構いません。
- ・申請書は PDF に変換して提出してください。PDF への変換方法が分からない場合には、事務局へお問合せください。

(2) 申請期間

2024 年 6 月 5 日 (水) ~ 2024 年 7 月 19 日 (金) 24 時必着

締め切りまでに、完成した申請書類を提出する必要があります。提出後に申請書の差し替えや修正はできません。データ容量が重いと送信に時間がかかることがありますので、時間に余裕を持って提出ください。

(3) 提出方法

申請書類を電子データでまとめ、以下に記載のメールアドレスまで送信してください。

一般財団法人ぐんま未来基金メール info@gunma-mirai-kikin.org

申請についてご不明な点や相談されたいことがありましたら、お気軽に事務局にお問合せください。お問合せの受付はメールのみとさせていただきます。

5. 選考プロセス**(1) 選考の流れ**

- 申請手続き** : 申請は 2024 年 7 月 19 日 (金) 24 時で受付を終了します。
上記の時間を過ぎて事務局が受信したものは対象となりませんので
ご注意ください。事務局より申請書受領のメールを返信します。申請
に際し疑問点がございましたら、お気軽にご相談ください。
- ヒアリング** : 提出いただいた書類について、事務局よりヒアリングをさせていただきます。実施日時及び実施方法はご応募いただいた団体宛てに個別
にご連絡します。
- 書類選考** : 審査委員会により書類選考。
- 審査結果の連絡** : 2024 年 8 月中旬までに、メールでご連絡します。

(2) 選考基準

申請事業は、審査委員会によって公平・厳正に審査されます。

審査基準		助成 A	助成 B	着眼点
1	課題解決性	○	○	どこで、どんな人が、どんな課題を抱えているか見えているか。社会課題解決に向けた“きざし”となり得る取り組みになっているか。
2	市民性	○	○	地域に立脚し、市民の共感を得られるか。
3	自立性	○	—	提案プロジェクトを自立的に継続していけるか。
4	未来性	○	○	課題解決の先のぐんまの未来を描けているか。
5	チャレンジ性	—	○	学生・若者らしいチャレンジ精神ある目標設定がされているか。
6	チーム力	○	○	力あわせプロジェクトを推進していける体制か。
7	経費適正性	○	○	経費の算出根拠が明確で、事業予算は適切か

※助成プログラム A・B で審査基準が異なります。

※マークの説明 「○」 … 重視する、「—」 … 審査基準対象外

6. 助成の採択結果の通知

- ・助成の可否を問わず、2024年8月中旬にメールにて結果を電子的に通知いたします。
- ・助成金の授与に関する詳細や条件については、採択結果通知文書を十分に確認してください。審査委員から実施条件が付く場合があります。
- ・審査結果についての問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

7. 説明会・オンライン個別相談会の開催について

申請について気軽にご参加いただける説明会と個別相談を行います。

●上記以外の説明会については、

ぐんま未来基金のホームページをご確認ください。

<https://www.gunma-mirai-kikin.org>



ぐんま未来基金ホームページ

●個別相談

オンライン（ZOOM）による個別相談を受け付けています。

申込フォームより希望の日時をお知らせください。

<https://forms.gle/7MrSRpX91xFzj3ub6>



個別相談申込フォーム

8. スケジュール

	【助成プログラムA】 マッチングギフト型助成	【助成プログラムB】 ぐんま未来チャレンジ助成
2024年6月5日(水)から	申請期間(ご不明点があればお気軽にご相談ください)	
2024年7月19日(金)24時	締め切り	
2024年8月中旬	審査結果の通知	
2024年8月下旬	助成金授与式・オリエンテーション	
2024年9月～10月	寄付募集準備期間	助成事業実施 事業終了 報告書提出期限
2024年11月～12月	寄付募集キャンペーン	
2025年1月～	助成事業実施	
2025年2月末		
2025年3月末		
2025年6月末		
2025年7月末	報告書提出期限	

9. その他の注意事項

- ・提出された申請書類は、審査のために使用され、返却されることはありません。
- ・事業終了から1ヶ月以内に、所定の事業報告書に記入いただき提出してください。また、事業進行途中に進捗状況についての情報提供が求められる場合があります。
- ・助成金の財源となる寄付をしてくださった寄付者の方々はじめ、多くの応援いただいている皆様に対して、本事業で得られた成果を広く伝えるため、ぐんま未来基金のホームページやSNS等で報告させていただきます。また、新聞やテレビなどの報道機関の求めに応じて、事業成果などの情報提供する場合があります。

10. 助成金の返還や関係書類の保存について

本助成金の財源は、市民や企業の方々からの寄付金です。以下についてご理解をお願いします。

- (1) 法令や条例、規則などに違反した場合、助成金を目的外に使用した場合は是正措置を求めます。改善されない場合、助成決定の取消や助成金の返還を求めることとなります。
- (2) 助成金を交付された団体は、助成金に関わる収支の証拠書類(領収書など)を整理し、いつでも閲覧できるようにしておいてください。証拠書類は事業実施年度の終了後、5年間の保存が必要です。場合により証拠書類を確認する事があります。

■ 個人情報の取り扱いについて

ご提出およびご記入いただいた資料によって取得した個人情報は、当該助成金の選考や運営、情報開示の目的で、ぐんま未来基金事務局及び審査委員会が使用し、適切に保護、管理ならびに廃棄いたします。

助成申請に関するご相談・お問合せ先



一般財団法人ぐんま未来基金
メール：info@gunma-mirai-kikin.org